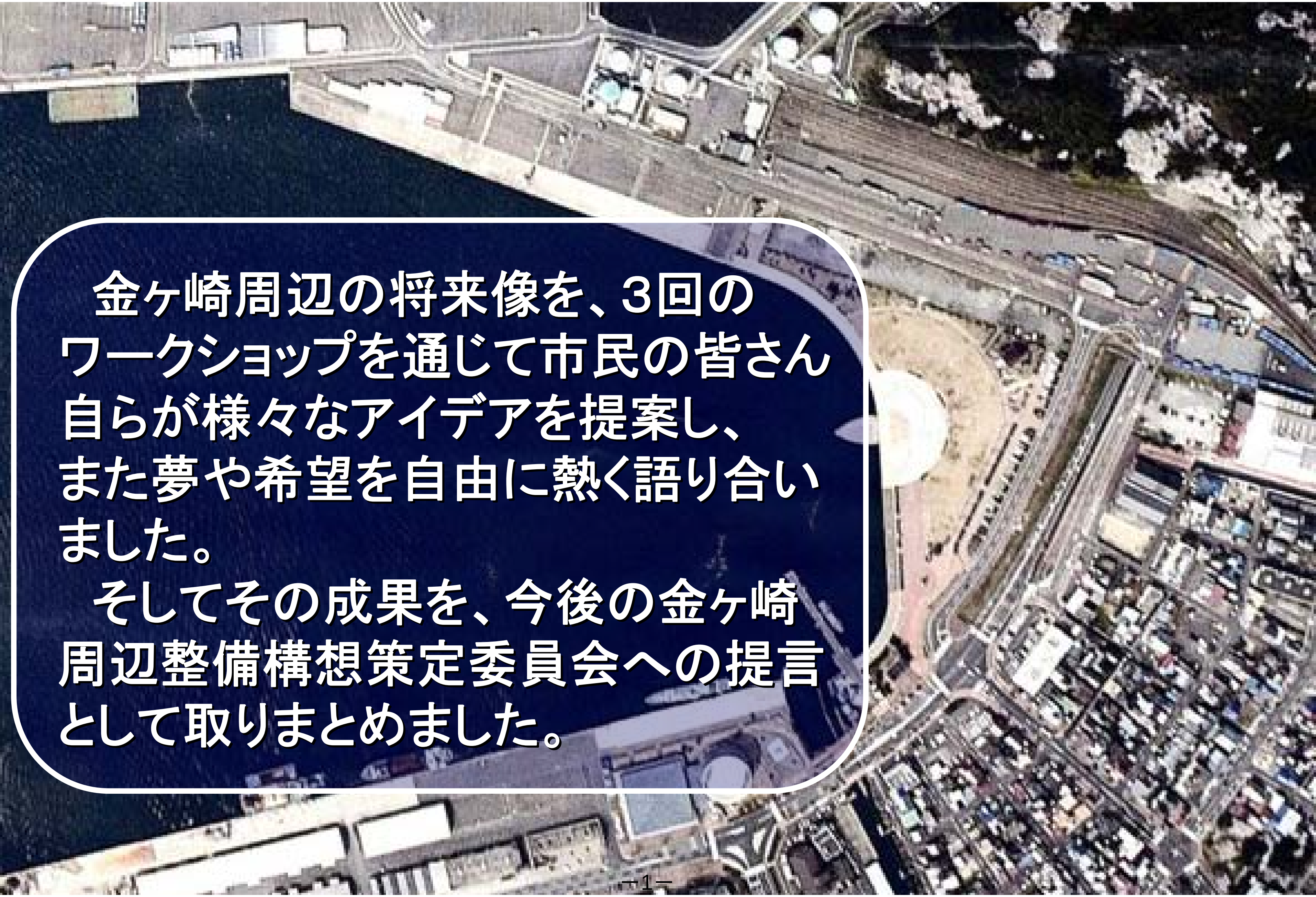
【人道の港　敦賀】パンフレットより引用

金ヶ崎周辺整備構想
市民ワークショップ提言書

平成23年6月29日(水)

【報告者】
ファシリテーター：福井県立大学　井上　武史
WS企画・運営　：UR都市機構　西　　斗志夫
山根　健太郎

はじめに



金ヶ崎周辺の将来像を、3回のワークショップを通じて市民の皆さん自らが様々なアイデアを提案し、また夢や希望を自由に熱く語り合いました。

そしてその成果を、今後の金ヶ崎周辺整備構想策定委員会への提言として取りまとめました。

「鉄道」と「港」の歴史　～時代背景（明治期以降）～

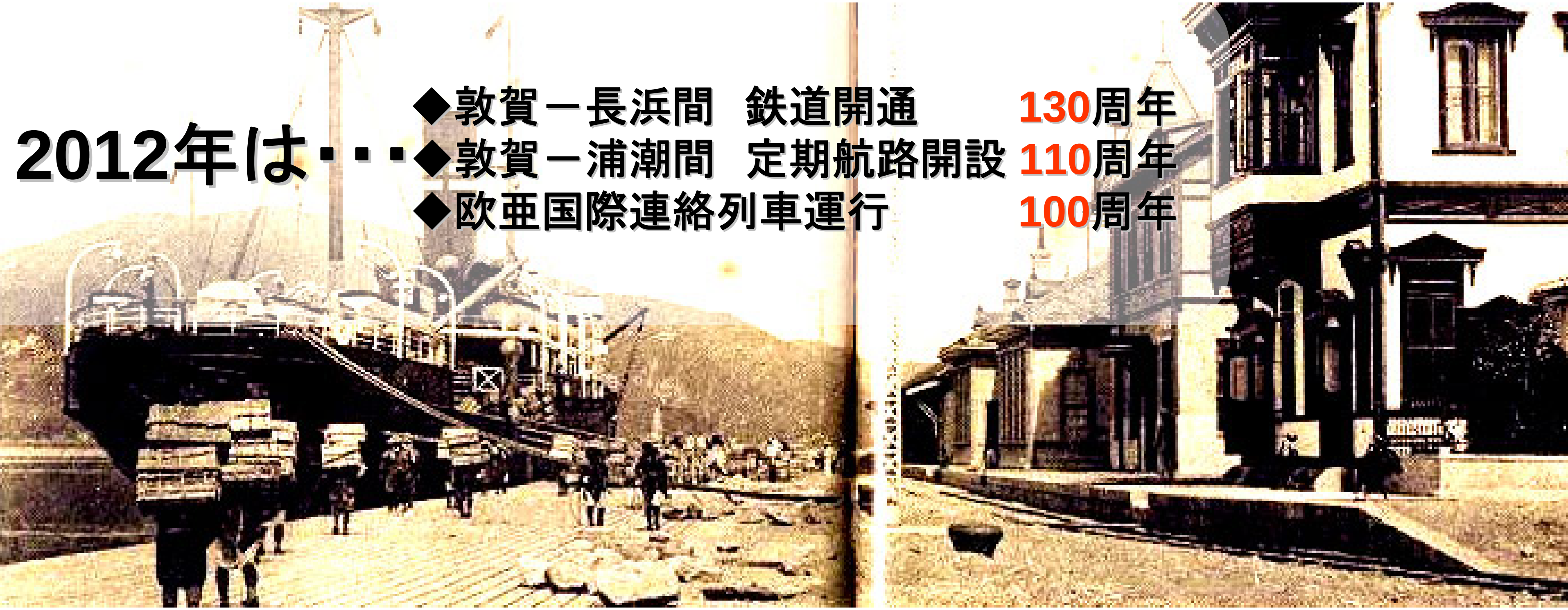
＜鉄道＞
- 1869年(明治2年)
  「琵琶湖湖畔～敦賀」決定
- 1882年(明治15年)
  金ヶ崎～長浜間鉄道開通
  ランプ小屋築造
- 1912年(明治45年)
  欧亜国際連絡列車開通
- 1941年(昭和16年)
  欧亜国際連絡列車閉鎖

＜港＞
- 1899年(明治32年)
  敦賀港開港場
- 1902年（明治35年）
  敦賀～ウラジオストック間定期航路開設
- 1907年(明治40年)
  第一種重要港湾に指定
- 1940年(昭和15年)
  ユダヤ人難民受入れ（命のビザ）
- 1941年(昭和16年)
  航路閉鎖

◆「鉄道」は国内3番目(①東京・横浜間、②京都・神戸間)に位置付け
◆「港」は国内4港(①横浜、②神戸、③下関・門司)の内の一つである
　第一種重要港湾に指定
⇒日本国内外において敦賀は鉄道と港の重要拠点として位置付けられる

敦賀にとって「鉄道」と「港」は密接な関係

ワークショップの背景

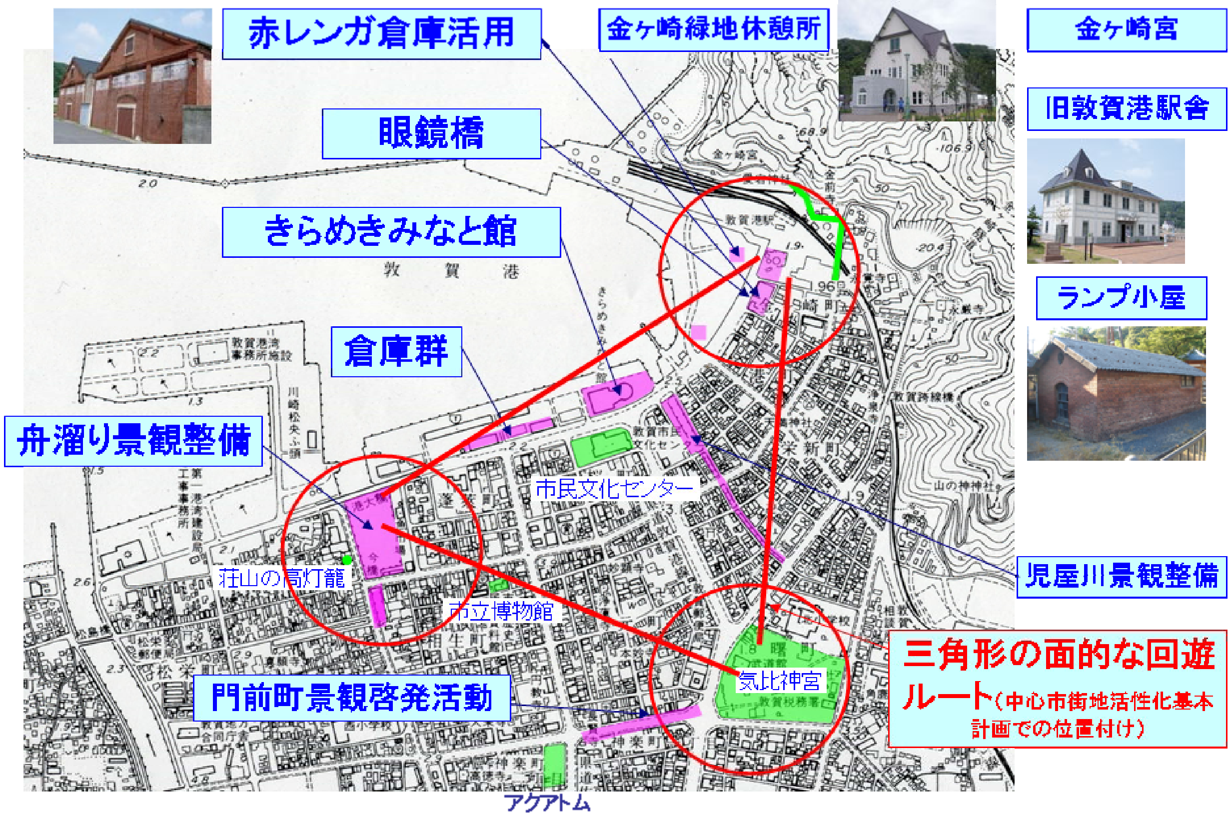


2012年は・・・
◆敦賀－長浜間　鉄道開通　130周年
◆敦賀－浦潮間　定期航路開設　110周年
◆欧亜国際連絡列車運行　100周年

【鉄道タイムトラベルシリーズVol.2　昭和10年の鉄道旅行より引用】

2012年という節目の年を迎えるに当たり、敦賀のまちがこれまで歩み培ってきた、【鉄道】と【港】の歴史を振り返りつつ、それらの財産を今後の市民主体のまちづくりに活かしていきたい。

ワークショップの目的



敦賀市中心市街地活性化基本計画（H21.12）

PROJECT
敦賀市 中心市街地
活性化 推進事業

【メインテーマ】

観光による「交流人口の増加」

【基本理念】

「港都つるが交流文化の再生と創造」

【基本方針】

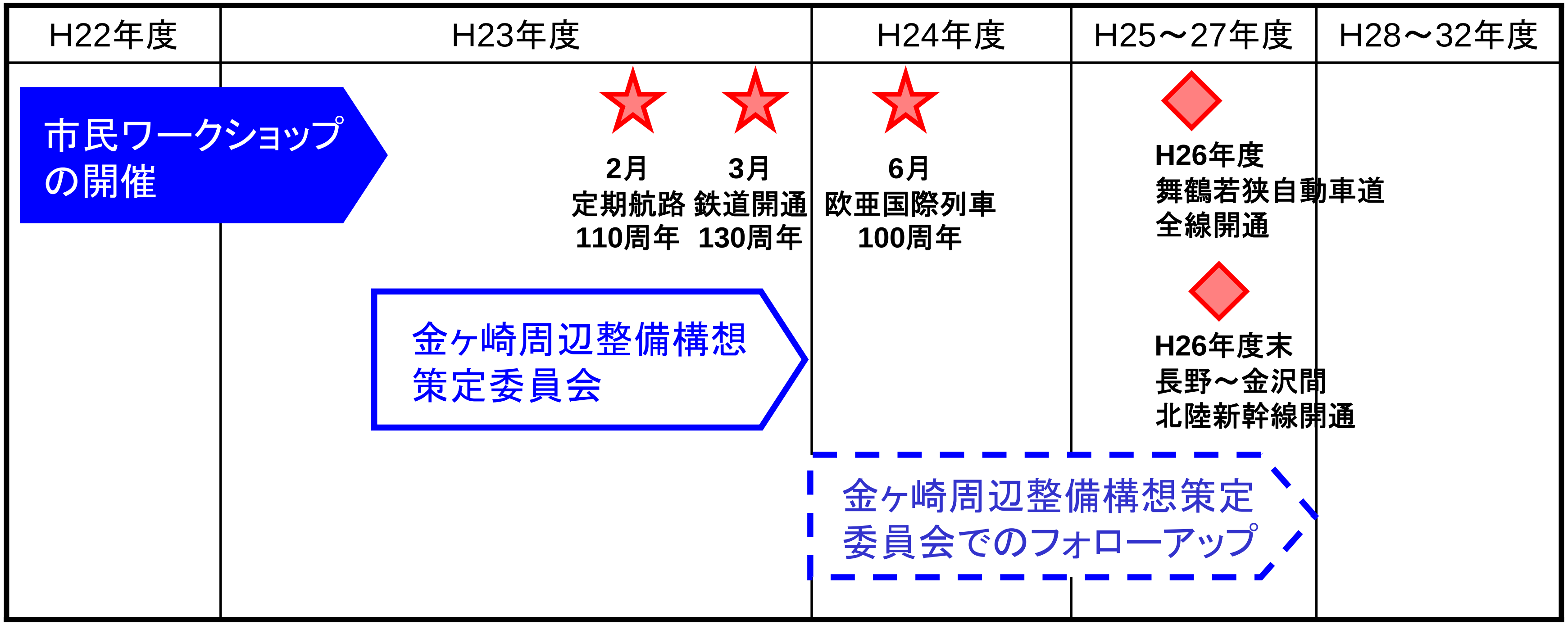
①資源を活かした集客拠点づくり

②集客拠点をつなぐ回遊ルートづくり

◆中心市街地活性化基本計画の中で**賑わい拠点の一つ**として位置付けられている**金ヶ崎周辺**には、港まちを感じさせる**赤レンガ倉庫**や**ランプ小屋**、現在休止している**港線**や**旧敦賀港駅舎**などの鉄道関係の**資源**が多くあるとともに、**未活用の土地**も点在しています。

◆このような資源について、個々に活用方策を考えるのではなく、将来にわたって一体的に活用していくための**構想を策定**するための最初の取り組みとして、**市民の方々の提案やアイデア**を幅広く取り入れるため、**ワークショップ**を開催しました。

金ヶ崎周辺整備構想　全体の流れ（予定）



ワークショップ運営体制

■ファシリテーター

福井県立大学地域経済研究所　　井上　武史

■WS企画・運営

UR都市機構西日本支社都市再生業務部　　西　斗志夫、山根　健太郎

■事務局

敦賀市企画政策部中心市街地活性化推進室

■参加者

主に敦賀市民（高校生以上で公募）

ワークショップのスケジュールと提言の流れ

回　数	日　程	テーマ	参　加 人　数
第1回	3月23日(水)	金ヶ崎地区の歴史を探る！	35人
第2回	4月27日(水)	まちづくりゾーン案を話し合う！	25人
第3回	5月25日(水)	具体化に向けたアイデアを出し合う！	22人

延べ82人

↓

6月29日(水)　ワークショップの成果を市長へ報告します！

↓

8月(予定)　ワークショップの成果を策定委員会へ提言します！！

ワークショップの様子①

第1回

グループディスカッション

グループ発表

第2回

テーマ説明

グループ発表

ワークショップの様子②

第3回

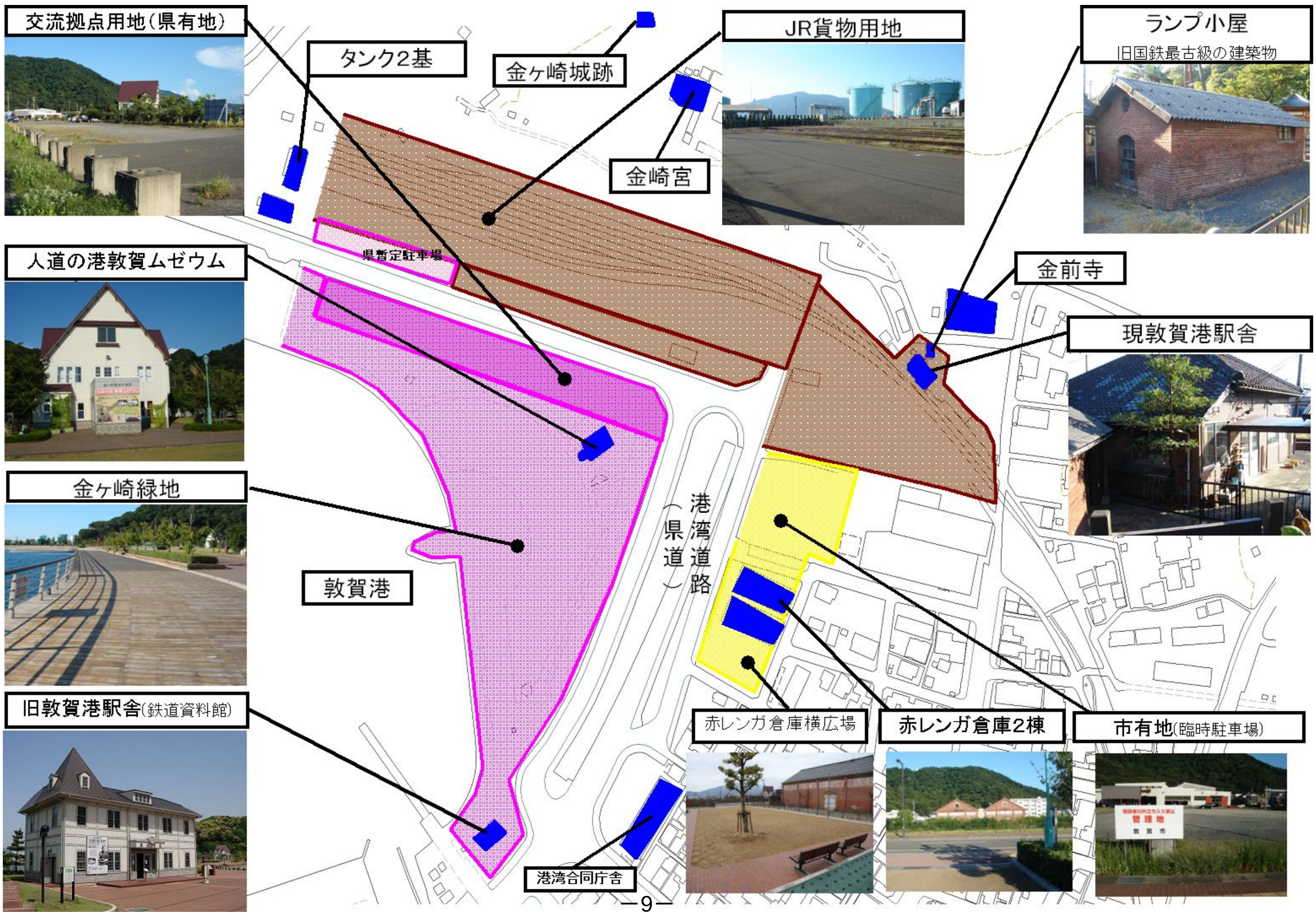
テーマ説明

グループディスカッション

グループディスカッション

ファシリテーターによるまとめ

ワークショップ対象エリア：金ヶ崎周辺の状況



ワークショップ参加者による主なキーワード

■鉄 道

＜ハード＞
・線路の活用
・ランプ小屋の活用
・欧亜国際連絡列車の運行
・駅舎の建設・移設と鉄道博物館拡張
・ＳＬ（D51・本町第三公園C58）
・９９９（松本零士）関連
・ジオラマ展示とジオラマカフェ
・テーマレストラン
・宿泊施設

＜ソフト＞
・トロッコ列車、人力トロッコなど
・線路ウォーキング、サイクリング
・イベント(ＳＬ・クイズ・コンテスト)
・独自のアイドル(48)、ゆるキャラなどのPR
・おもてなし

■港・港町

＜ハード＞
・赤レンガ倉庫の活用
・人道の港ムゼウムの活用
・レトロなまちなみ（とことん造る）
・領事館(ソビエト・リトアニア)
・趣のあるレストラン、カフェ
・賑わいを演出する飲み屋、バー
・教会、結婚式場
・宿泊施設やレトロな風呂屋
・シンボリックな施設
（噴水・タワー・ブリッジ・ロープウェイ等）
・歩道、街灯整備、無電柱化
・花畑、松並木、植栽
・マンション、アパート
・食、物販等の商業施設

＜ソフト＞
・杉原千畝映画化、風呂屋の小説化
・クルージング、船の操縦体験
・夜景整備、イルミネーション
・音楽、コンサート
・外国人のおもてなし

■その他

・回遊性向上とアクセス改善(シャトルバス・金崎宮等)
・ドラマ性、物語性
・ターゲット(市民・観光客・鉄道ファン・子供)
・コンセプト
・ＰＲ方法(ネット、パネル・紙芝居、幼小中高のイベント等)

ハード提案（新施設整備・移設・回遊性等）

鉄道
- **敦賀港線の保全、活用**
- **欧亜国際列車の運行**
- **SL**を走らせる(200～300mでも)
- 本町第3公園の**SLの移設**
- **乗って遊べる列車が欲しい**
- 鉄っちゃんゾーン

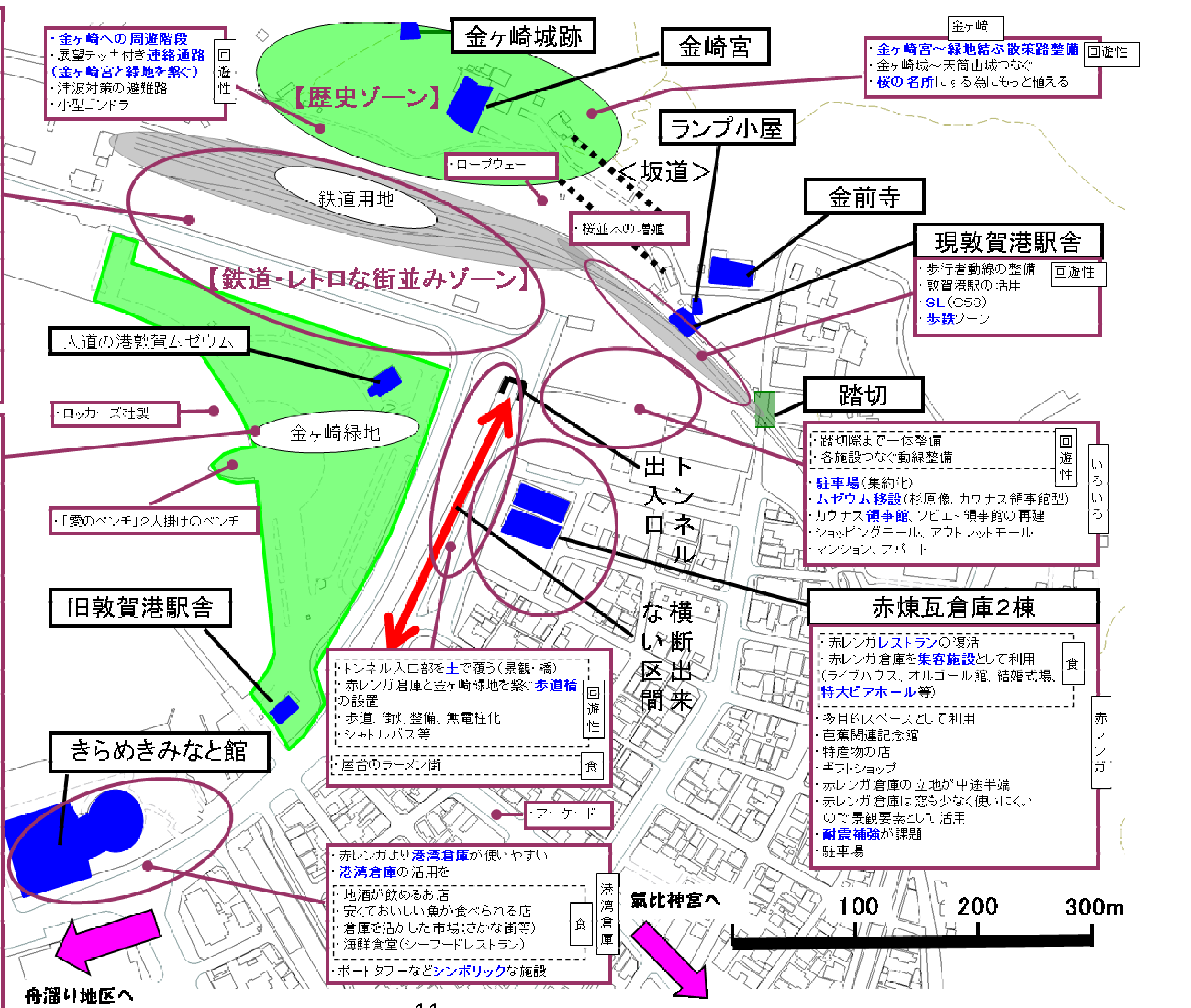
施設整備
- **レトロな街並み**、レトロな商店街
- **ホテル**（客車、鉄道、迎賓館、外国人客対応）
- **ジオラマ**展示、ジオラマカフェ
- **999**テーマ館、999関連整備
- **旧敦賀港駅舎**移設
- レトロな**風呂屋**
- 税関旅具検査所
- 大和田商店
- 鉄道コンテナの撤去
- 観光バス駐車場

食
- 昔懐かしい**食堂車**
- **レストラン**（レトロ、鉄道）
- 少し高台にしてビアガーデン
- 屋台・カフェゾーン
- 食べ物、土産、物販

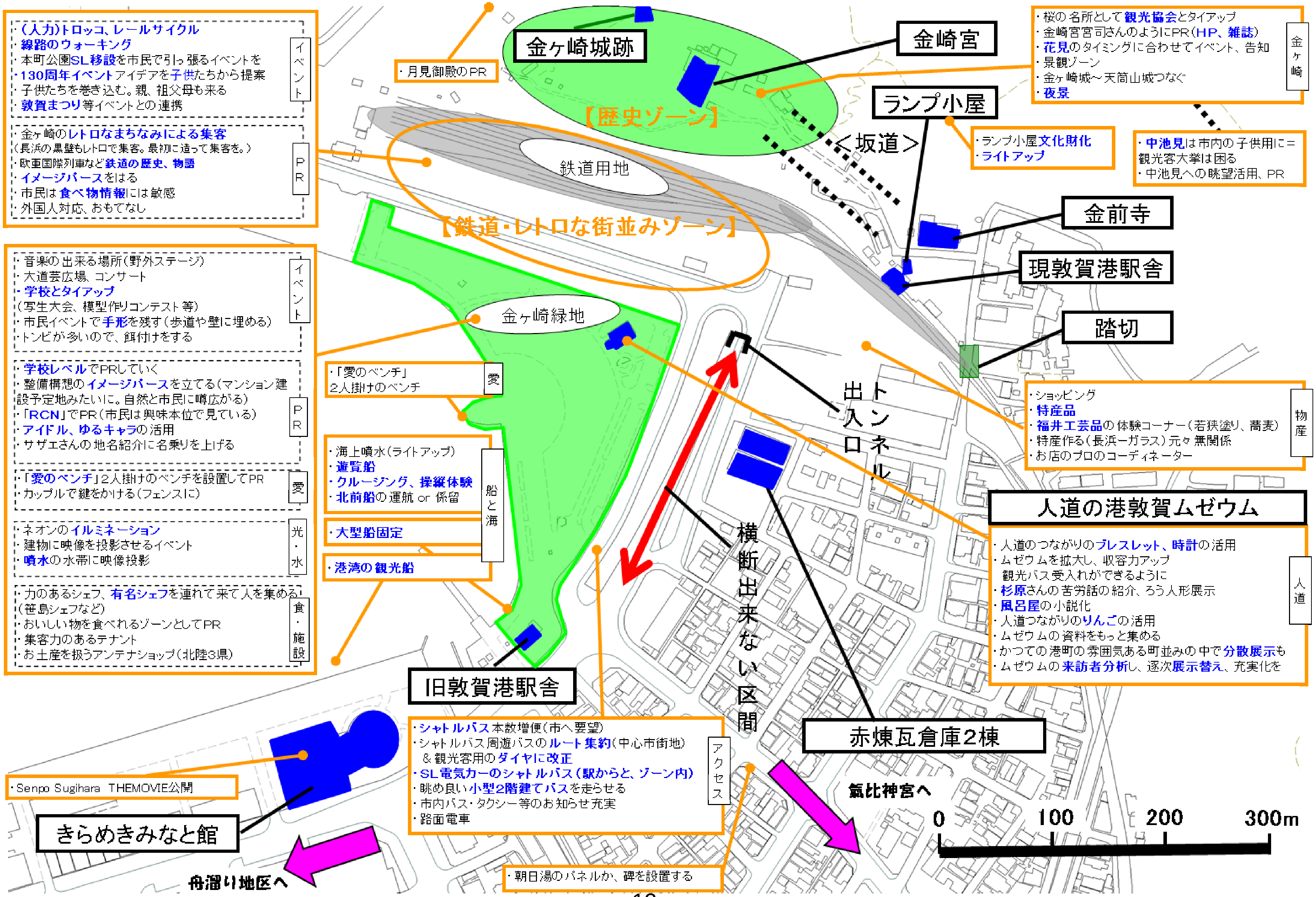
食
- **レトロ**、長い建物に戸割の**レストラン**
- **海が見える**レストラン
- 世界各国料理（ドイツ、ロシア、リトアニア）
- 世界の**ビール**
- 期間限定レストラン
- ファーマーズレストラン
- お母さんレストラン
- **オープンレストラン、カフェ**、ドッグカフェ
- テント型店舗
- **屋台村**（ラーメン、おでん）
- 安いフードコート
- 喫茶店、バー
- スウィーツを売りに

施設整備
- 全体を港・鉄道のテーマパーク
- 神戸のモザイクのような施設、レストラン、商業など
- **教会、結婚式場**
- 鉄道と船の巨大博物館
- **旧敦賀港駅舎**移設・活用
- カジノゾーン
- 集客力のあるテナント

公園整備
- **トイレ**の設置
- **ステージ**
- **カップル・家族**ゾーン
- 集客力のあるテナント
- 港らしい**遊具**（家族連れで）
- 子供たちが遊びやすい空間作り
- ドッグラン
- もっと柔らかい芝生に！
- **花畑、松**並木、植栽
- 日陰の出来る大きな樹木を
- 桜もいいが、松の木をもっと増植
- 観光バス用大型駐車場
- （・愛のベンチ）



ソフト提案（イベント・PR・交通アクセス等）



昭和初期頃の敦賀港の復元模型（敦賀市立博物館所蔵）

ワークショップで出た主な課題

（Ⅰ） コンセプト･ターゲット

○歴史、物語、ストーリー性
○ターゲットと戦略の明確化

（Ⅱ） 整備の進め方

○今ある資源の有効活用
○核となる新施設整備
○エリア内外の回遊性向上

（Ⅲ） 整備･運営戦略

○ハード・ソフトを一体化させた推進
○メリハリのある資金投下と段階的整備
○市民・民間・行政の役割分担と連携
○マネジメント（施設管理・運営）の戦略

（Ⅳ） 集客戦略

○イベントの戦略
○PR方法の戦略
○おもてなし
○駅からの交通アクセス改善
○食や地元物産等の活用

課題へのアプローチ①

（Ⅰ） 全体テーマ：コンセプトの設定

「鉄道の夜明けと人道の港　敦賀」

（Ⅰ） ターゲット

＜WSで出たキーワード＞

①市民の憩いの場
- ・市民が楽しめる場
- ・子供が遊べる場
- ・友人に案内できる空間
- ・デートスポット

②観光客
- ・観光客が滞在する場
- ・鉄道マニア　・外国人

（Ⅱ） 整備の進め方

①地域資源の保全・活用
- ・線路
- ・赤レンガ倉庫、ランプ小屋
- ・人道の港（ムゼウム、物語性）

②新しい街並み・景観づくり
- ・レトロなまちなみ
- ・レストラン、カフェ
- ・夜景整備

③エリア内外の回遊性
- ・エリア内（歴史・鉄道ゾーン、金ヶ崎緑地）の回遊性
- ・歩道橋整備など歩行者動線強化
- ・エリア外（倉庫群、舟溜り、氣比神宮等）への回遊性

課題へのアプローチ②

（Ⅲ）　整備・運営戦略

＜WSで出たキーワード＞

戦略	WSで出たキーワード
①ソフト戦略と物語性導入	・鉄道の歴史・物語性の盛り込み ・人道の港の歴史・物語性の盛り込み ・今ある資源の活用　・人力トロッコ等の仕掛け
②資金投下と段階的整備	・初期の中核施設の見極め ・特に食による集客、まちなみ整備 ・仮設店舗等による初期集客と集客力に応じた恒久施設整備
③役割分担と連携	・民間のアイデア活用と行政支援 ・公設民営などの工夫 ・市民参加による盛り上げ
④マネジメント	・集客力に応じた施設整備と運営 ・中核施設やテナントの誘致

（Ⅳ）　集客戦略

戦略	WSで出たキーワード
①イベント・ＰＲ	・SLの移設、人力トロッコ等のイベント ・アイドル、ゆるキャラ等でのPR ・幼小中高校と連携したイベント（手形・絵） ・ネット戦略とJR、マスコミ等とのタイアップ
②交通アクセス・おもてなし	・駅からのシャトルバス等の増便、ルート見直し ・サイン、案内板の強化 ・市民による案内、おもてなしの意識
③食・地元物産の活用	・敦賀の強みである、海鮮物の活用 ・県内各地方の物産展や工芸品の活用

金ヶ崎周辺整備に関する基本的な考え方①

① （Ⅰ）市民の憩いの場でかつ観光客の目的地となる、「鉄道と港のまち」として整備

② （Ⅰ）「欧亜国際連絡列車」等の玄関口として最も輝いた、明治後期～昭和戦前頃の時代を中心テーマに設定

③ （Ⅱ）鉄道用地、赤レンガ倉庫を中心としたゾーンは、「鉄道・レトロな街並みゾーン」として設定（民間活力の活用）

④ （Ⅱ）線路敷き、ランプ小屋、赤レンガ倉庫等の既存ストック活用とレトロな街並みなどの新たな整備

⑤ （Ⅱ）海側の金ヶ崎緑地の開放性活用

⑥ （Ⅱ）山側の金ヶ崎城跡、金崎宮、中池見等、既存の「歴史ゾーン」の活用

⑦ （Ⅱ）歴史ゾーン、鉄道ゾーン、金ヶ崎緑地等の各ゾーン間の回遊性向上

⑧ （Ⅱ）倉庫群や舟溜り地区、氣比神宮等への周辺エリアとの回遊性向上

金ヶ崎周辺整備に関する基本的な考え方②

⑨　（Ⅲ）ハード整備と共に、ソフト面の「鉄道」や「人道の港」に関する物語性も導入
⑩　（Ⅲ）市民、民間、行政の役割分担と連携
⑪　（Ⅲ）2012年を契機とした市民参加での機運盛上げ
⑫　（Ⅲ）2014年の舞鶴若狭自動車道開通等を最初の節目とした整備（節目毎の目標設定による10年程度の長期計画）
⑬　（Ⅲ）集客力に応じた段階的整備
⑭　（Ⅲ）中核施設の見極めと整備スケジュールに応じた民間活力の導入
⑮　（Ⅲ）実態需要に応じた施設整備・マネジメント戦略
⑯　（Ⅳ）イベント・PR戦略と知名度向上
⑰　（Ⅳ）シャトルバスやサイン等による駅からの交通アクセス強化と市民のおもてなし意識向上
⑱　（Ⅳ）敦賀の強みである「食」、福井県の「工芸品」等の活用

↓

策定委員会へ提言します！！